



千代田っ子

学校だより
令和7年度
第5号

令和7年8月29日



令和7年度 中間学校評価 集計結果について

7月、児童並びに保護者の皆様と教職員を対象にしたアンケートを実施しました。保護者の皆様には、お忙しい中、回答のご協力ありがとうございました。

今回のアンケートは、よりよい学校づくりのために本校が取り組んできた教育活動について、児童・保護者・教職員の三者が、各項目についてどのように捉えているかを比較できるような形で実施しました。アンケート結果は、千代田小学校の教育の成果と課題を探る貴重なご意見として、改善策に役立ててまいります。保護者の皆様にも、お子さんの健やかな成長のためにご協力よろしくお願いいたします。

* 4(青)：あてはまる 3(緑)：だいたいあてはまる 2(黄)：あまりあてはまらない 1(赤)：あてはまらない

* 「4+3」の肯定的な評価の割合で評定。90%以上-A, 75%以上-90%未満-B, 60%以上-75%未満-C, 60%未満-D

項目	設問	対象	評価項目	アンケート結果 *グラフは%	4+3	評定
全般	1	児童	楽しく学校に通っている。	63.625.78.02.7	89.3	B
		保護者	お子さんは、楽しく学校に通っている。	61.831.05.61.5	92.9	A
		教員	子供たちは、楽しく学校に通ってきている。	50.047.42.6	97.4	A
	2	児童	進んであいさつをしたり、しっかり返事をしたりしている。	57.132.48.91.5	89.5	B
		保護者	お子さんは、進んであいさつをしたり、しっかり返事をしたりしている。	32.647.618.61.3	80.2	B
		教員	子供たちは、進んで挨拶をしたり、しっかり返事をしたりしている。	5.371.121.12.6	76.3	B
	設問1「楽しく学校に通っている（来ている）」の評価は、児童・保護者・教員のいずれにおいてもA、またはそれに近い結果となりました。重点目標である「wakuwaku」については、児童自身に加え、保護者や教員から見ても、児童が楽しく学校生活を送っている様子がうかがえます。 設問2の「あいさつや返事」については、児童・保護者・教員いずれの評価も昨年度よりよくなり、あいさつに対する意識の高まりが見られます。					
	《学校では》 今後も児童が毎日楽しく学校生活を送ることができるよう、一人一人に寄り添った関わりを大切にしていきます。 挨拶や返事については、相手の目を見てしっかりと行えるよう、教師が率先して実践し、子供たちの「相手を意識する態度」を育てていきます。 また、生活委員会によるあいさつ運動も、引き続き継続していきます。				《家庭では》 ○お子さんが毎日楽しく学校に通えるよう、笑顔で送り出していただき、家庭での会話の中でも学校での様子を話題にしていたいただければと思います。 ○ご家庭でも、挨拶をはじめ、お子さんと目と目を合わせて対話する時間を大切にしていただければと思います。	
	かしこく「進んで」	3	児童	学校の勉強がよく分かる。	48.241.38.91.6	89.5
保護者			お子さんは、学習内容をよく理解している。	33.345.517.04.1	78.9	B
教員			子供たちは、学習内容をよく理解している。	2.684.213.20.0	86.8	B
4		児童	タブレットなどを活用して自分で学習を進めることができる。	65.525.97.70.9	91.4	A
		保護者	お子さんは、タブレットなどを活用して自分で学習を進めることができる。	45.037.412.25.3	82.4	B
		教員	子供たちは、タブレットなどを活用して自分で進めることができる。	23.755.321.10.0	78.9	B
5		児童	自分の考えや思いを相手に伝えるように話すことができる。	41.837.815.9	79.6	B
		保護者	お子さんは、自分の考えや思いを相手に伝えるように話すことができる。	21.150.923.94.1	72.0	C
		教員	子供たちは、自分の考えや思いを相手に伝えるように話すことができる。	2.650.047.40.0	52.6	D
設問3では、児童・保護者・教員のいずれも学習内容の理解がB評価となっており、中間評価としてはまずまずの結果と考えられます。 設問4では、発達段階に応じて子供たち自ら課題を見つけて解決する学習や、ICTを効果的に活用した学習が徐々に定着している様子がうかがえました。しかし、学習内容を理解している、自分の考えや思いを友達や教師に伝えることについては、保護者や教員からの評価がCまたはDと低めの結果となっています。						
《学校では》 ICTを有効に活用しながら、子供たちが主体的に課題を解決できる学習過程の工夫を進めていきます。 また、個別最適な学びの充実に向けて1時間の学習の振り返りの時間を設けます。 そして、考えを伝え合う協働的な場面を大切にし、相手に伝える話し方を身に付けさせていきます。				《家庭では》 ○毎日の宿題や家庭学習が定着するよう、声掛けをお願いします。 特に2年生以上はタブレットを使った家庭学習も始まっておりますので、お子さん自身が自分の課題に合った学習を選び、進めていけるよう温かく見守っていただければ幸いです。		

年度の重点目標「Waku Waku」「進んで」「仲間と」「最後まで」学ぶ子どもの育成」

やさしく「仲間と」	6	児童	自分にはよいところがあると思う。	53.726.411.97.9	80.2	B
		保護者	お子さんは自分のよさに気付いている。	19.655.023.42.0	74.6	C
		教員	子供たちは、自分のよさに気付いている。	15.860.523.70.0	76.3	B
	7	児童	友達のよさに気付き、力を合わせることができる。	64.727.26.31.8	92.0	A
		保護者	お子さんは、友達のよさに気付き、力を合わせることができる。	37.451.710.70.3	89.1	B
		教員	子供たちは、友達のよさに気付き、力を合わせることができる。	23.763.210.52.6	86.8	B
	8	児童	いじめは絶対に許されないという思いをもち、誰にでも思いやりをもって接することができる。	86.412.10.21.3	98.4	A
		保護者	お子さんは、いじめは絶対に許されないという思いをもち、誰にでも思いやりをもって接することができる。	53.442.20.34.1	95.7	A
		教員	子供たちは、いじめは絶対に許されないという思いをもち、誰にでも思いやりをもって接することができる。	31.665.80.02.6	97.4	A
	9	児童	学校の「きまり」や「やくそく」を守り、人に迷惑をかけない生活をしている。	60.533.44.81.4	93.9	A
		保護者	お子さんは、学校の「きまり」や「やくそく」を守って生活している。	47.841.210.20.8	89.1	B
		教員	子供たちは、学校の「きまり」や「やくそく」を守り、人に迷惑をかけない生活をしている。	2.665.831.60.0	68.4	C
設問7、8では、児童・保護者・教員のいずれもAまたはAに近い評価となり、友達のよさに気付き、友達に対して思いやりをもって接している様子がうかがえます。 一方、設問6の「自分のよさ」については、「1」の評価をつけた児童が7.9%おり今後の課題としてしっかり受け止めてまいります。 また、設問9では、教師と児童の評価に大きな差があり、きまりを守る意識にずれが見られました。 《学校では》 学校の教育活動の中で、子供たちが自分らしさを見付け、それを発揮できる場を設定し、自分のよさに気付けるようにしていきます。 また、教師がそのよさを児童自身や学級全体に伝える機会をつくり、自信を育てていきます。 きまりについては、「千代田っ子のやくそく」や「3つのあ」などを日常的に確認・意識させる場を設け、きまりを守る行動へとつなげていきます。 《家庭では》 ○日頃からお子さんのよさや頑張りを家庭でも伝えていただけますようお願いいたします。 ○メディアコントロールなど、家庭で設定した約束を守れるよう励ましや声掛けをお願いいたします。 ○校外での過ごし方について、家庭で「千代田っ子のやくそく」をご確認いただけますようお願いいたします。						
たくましく「最後まで」	10	児童	最後まであきらめずに取り組んでいる。	63.626.87.12.5	90.4	A
		保護者	お子さんは、最後まであきらめずに取り組んでいる。	29.350.118.12.5	79.4	B
		教員	子供たちは、最後まであきらめずに取り組んでいる。	23.763.213.20.0	86.8	B
	11	児童	元気よく遊んだり、運動したりしている。	75.716.55.12.7	92.2	A
		保護者	お子さんは、元気よく遊んだり、運動したりしている。	65.424.29.41.0	89.6	B
		教員	子供たちは、元気よく遊んだり、運動したりしている。	65.828.95.30.0	94.7	A
	12	児童	自分や周りの人の安全を考えて行動している。	65.829.90.73.6	95.8	A
		保護者	お子さんは、自分や周りの人の安全を考えて行動している。	35.652.211.21.0	87.8	B
		教員	子供たちは、自分や周りの人の安全を考えて行動している。	2.671.126.30.0	73.7	C
設問10では、児童・保護者・教員いずれもB以上の評価がつかしました。何事にも挑戦する気持ちや諦めない気持ちをもっている様子がうかがえます。 設問11では、休み時間にはグラウンドや体育館で、放課後には公園などで体を動かしている様子が見られています。 一方、設問12では児童がAの評価をつけているのに対し、教員の評価はCと差が大きく、意識のずれが見られました。 《学校では》 ○設問10については、様々な活動や学習に取り組む中で、結果だけでなく過程を評価し、子供たちに自信をもたせ、最後まで粘り強く取り組む心を育てていきます。 ○設問12については、「3つのあ（あいさつ・安全・相手意識）」の徹底を全教職員が意識し、児童に指導してまいります。具体的には、廊下での見守り、登下校時の道路での見守り、継続的な学級指導などを行います。 《家庭では》 ○体力づくりに関しては、家庭内でメディアに触れる時間を制限し、それ以外の時間で積極的に体を動かす機会をつくっていただけるとありがたいです。 ○登下校時や放課後の交通安全については、ご家庭で継続的に声掛けをお願いします。 特に放課後の遊び方については、安全確認のために、家庭で「どこで」「どんな」遊びをしているかを把握していただくようお願いいたします。						